

http://www.minamih.net/



10・12・4(土)
南NEWS NO47

第17回 三多摩リーグ U15 最終戦 (11/7) レポート

60分を闘いぬいた3年生

○南八王子レッド 2-1 TACサルヴァトーレ

南の中学2・3年生がとても素晴らしい試合を見せてくれました。試合終了のホイッスルと同時に何人もの3年生がピッチに座り込んでしまいました。強豪相手に60分を闘いぬいた疲労感と、中学最後の三多摩公式戦に勝利した満足感が彼らの顔に表れていました。キックオフ直後奪われた先制点に、「やはりサルヴァは強い！」と皆が感じ、「いったい何点取られるのだろうか？」と観ていた多くの人が心配したのは事実です。

ところが、時間の経過とともにDFが落ち着きを取り戻し、上野君が何回かオーバーラップできるようになり、桑原君のフィードボールがサイドの高橋強君にわたるようになりました。中盤では阿部君と小宮君がタメを作れるようになると岩下君や菅谷君の飛び出しに少しずつ合うようになりました。2年の武内君や上倉君も相手シュートを何度も身体でブロックしてくれました。すると前半終了間際、攻め上がった相手の背後に橋本君が抜け、ドリブル突破からGKをかわし同点ゴールが生まれました。ベンチの山口君や高橋駿君も大興奮で、改めて橋本君のスピードに驚かされました。

サルヴァトーレは昨年12チーム中2位の強敵で、去年の強かった南3年生も0-3で敗れています。その相手に皆が一致結束(いっちけっそく)するのは後半になってからです。相手の猛攻(もうこう)に疲れがたまり、両足痛めた阿部君もいったんベンチに下がり、上野君も痛めた足を引きずりながらプレーしました。西村君がラインの最後でカバーリングに入り何度も決定的場面を防いでくれました。2年生GKの下地君(前半は井口君)も身体で強烈なボールをはじき返してくれました。そんな守備のガンバリに答えたのはまたしても橋本君でした。見事なカウンターボールが彼に入り、ドリブルで相手1人をかわしミドルシュート、逆転のゴールにチーム全体が歓喜(かんき)! その後はリードした1点をみんなで守ろうと、持っている力以上のプレーを見せてくれました。

竹内君は何度も足をけられましたが文句一つ言わず淡々(たんたん)とプレーを続け、復帰した阿部君も歯を食いしばりながら身体を投げ出しました。そしてタイムアップの笛。

11月28日は、2年生のお楽しみ海と懇親会がありました。

横山市民会館で80名近くの子どもたちとコーチ、お家のみなさんが参加して、ゲームや出し物ありのとっても楽しいひとときを過ごしました。

お手製のジュースも美味しかったです。心のこもったおもてなしもありありがとうございました。

明日は、6年生のリーグ戦優勝のお祝いの会があります。

子どもたちとコーチ、お家のみなさんのGAMBARIの成果です。各クラスのコーチのみなさんもお祝いに駆けつけます。楽しい会になりそうです。



試合前から気持ちが入っていたわけではありません。闘ってゆく間に、少しずつ冷静さをとり戻し、少しずつ自分達のスタイルでボールを持ち、少しずつ皆で「勝利」という共通の目的を持ちはじめ、少しずつ3年生の意地が強い気持ちに変わって行きました。負傷した仲間を思いやりながら必死に猛攻に耐えた姿は、南のモットーである「強い気持ちと仲間を思う優しい心」をまさに映(うつ)し出したものでした。

このような試合で先輩(せんぱい)と一緒にプレーできた4名の2年生はとても幸せだったと思います。そして私たちコーチも、こんな感動的な試合を自分達で創り出してくれた南の子供たちをととても誇りに思います。



南 Jr ユース OB の活躍 (かつやく)

11月21日(日)第89回全国高校サッカー選手権山梨県大会の準決勝、日大明誠高校対日本航空高校の試合は大接戦でした。明誠が1点先制した直後航空が追いつき、後半に逆転、しかし残り2分で明誠が同点に追いつき延長戦となりました。そして延長後半、相手にPKを与えた明誠は惜(お)しくも決勝進出を逃(のが)しました。

この試合、残り2分で同点ゴールを決めた日大明誠の丸山侑也君が南 Jr ユースのOBです。「絶対に追いつきたい」と決してあきらめない強い気持ちで何度も強靱(きょうじん)なDFに挑(いど)んだ結果の得点だったそうです。もし決勝に進んでいれば、あの前年度全国優勝した山梨学院と闘(たたか)う事ができたわけです。試合後、大森監督は「胸を張って学校(上野原市)へ帰ろう」と泣きじゃくる選手へ声をかけたそうです。

この試合の内容は山梨日日新聞でも大きく取り上げられました。快足ストライカーの丸山君は、無口でおとなしいとても練習熱心な努力家でした。そして、仲間に対して決して文句を言わず、コツコツと自分のプレーのレベルアップを心がけていました。敗れはしましたが、この経験は彼の今後の人生にとって大変大きな意義のあるものです。そして、南のコーチとして彼の活躍をととてもうれしくまた誇(ほこ)りに思います。日大明誠には鳥山君と大澤君の2人の南OBの1年生がいますので、来年また全国大会出場をめざしてGAMBAって欲しいと思います。

by Jr ユース 松田監督

OBに期待する

南のOBで全国大会に出場した前田君をはじめとして先輩が何人かいます。松田さんが仰るように、先輩に続いて高校総体や全国高校選手権で活躍するOBがこれからも出ると思います。みんなで応援に行きたいですね。

高校までGAMBAれば、技術、理論は一応マスターできます。指導者としての基礎的な資質も備わってきます。その後、大学やJリーグで活躍する人もいることですが、卒業後、もし、現役を引退するようなときは、ぜひ南の後輩の指導に力を貸してください。

それまで勉強とサッカー、GAMBAってくださいね。待っていますよ。

by 南のアンパンマン